



発行所
横浜市神奈川区沢渡4の2
一般社団法人
神奈川県保育会
発行人
都築 融光
題字
故内山岩太郎筆

東日本大震災に思う

一般社団法人神奈川県保育会

理事長 都築 融光

この度、戦後最大ともいえる東日本大震災に於いて犠牲となられた方々に保育関係者一同共々に心から哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。又、被災された多くの皆様にも謹んでお見舞を申し上げたいと存じます。

自然の恐ろしさをまのあたりに突きつけられ、一国の總理を始め多くの国民が戸惑いを感じたことと思います、私しも最初の内はテレビの中で次々と映し出されるあの津波の脅威に唖然としてしまいました。あの時、子ども達の側に居られなかつた園長先生方は私を始め皆心配を隠しき切れなかつたこととお察し致します。そんな中、日を追うごとに報道される地震と津波の被害状況は涙なくして見て居ることは出来ませんでした。更に日が進むにつれ今度は被災地に向けて支援活動が大き

く膨らみを見せる中、ボランティア活動をする人達に対しても又涙を隠しきれませんでした。特に最近の若者は不評視される世代の若者達が自分に今出来ることをやろうとする積極的な支援活動は、暗闇の中に見つけた小さいけれど未来を背負う希望の光かなと感じながら又、うつすらと涙してしまいました。

一方、安全第一のもとに建設された原発は日々の快適な

生活を味わい楽しんで来た人々をいとも簡単に「想定外の出来事」として近隣住民に

募金活動につきましては、

育園に通う母親の半数はパートタイマーとして働く人が多く、生活は必ずしも楽ではないという現状です。しか

し被災地の人達の現状を考えた時、私達はその事を一言も口にしないのだろうと思いま

す。

今後も長期化することが予測される生活環境の中で私達は使命として子ども達の日常生活をしっかりと守つてやらなければなりません。コマーシャルタイムで訴えている様

に「被災地の人達のことを考えて」みんなで頑張つて、この長い道のりを乗り越えて行こう。被災地の子ども達のこと

を考えて保育者として自分の身近で出来ることを実行して行こう。そしていつか時間の過ぎた中で被災地の人達に逢う機会があつた時に胸を張つて笑顔で接することが出来る

自分を作つておこう。

東日本大震災に
かかる被災地支援

全国保育協議会では、被災地情報の把握とともに、被災するため保育三団体で募金活動を共同実施することとなりました。神奈川県保育会でもこの趣旨に賛同し募金活動を行うとともに、今後、その他の支援活動も検討する予定です。

神奈川県保育会がとりまとめ「保育三団体被災地支援募金」へ義援金として送金します。

なお、厚労省から「保育所に係る「東北地方太平洋沖地震」Q&A」において、保育所運営費から義援金を支払うこととは、本来は運用の範囲外と解されるが、今回はその被害が極めて甚大であることに鑑み、特例的に理事長の専決規定期間内や理事会、所轄庁等の承認を得て行う場合は、使途範囲以外に抵触しない取扱いとするとされています。

一般社団法人 神奈川県保育会

創立50周年記念大会

平成23年3月26日 横浜ベイシェラトン8タワーズ



宮田副理事長による開会のことばにより、会場の「日輪」は厳肅な雰囲気の中、大きな拍手をもつて記念大会の幕が上がりました。会場には、来賓の方六十三名を合わせた全

参加者三百八十七名がこの日のお祝いに駆け付けて下さいました。

第一部の記念式典は、はな雄大会会長より主催者を代表してあいさつがなされました。あいさつでは、来賓の方々への感謝と創立五十年で初めて周年行事が行えた経緯や初代望月正道会長、二代安部龍巖会長、三代鈴木萬吏会長の偉大なるご功績を讃えられると

ともに、「ご参会の皆様のお力添えを賜り、私たちは生涯を通じて子ども達が幸せになるよう努めて参りたい。」と凛とした強い想いを伝えられました。

次に、保育会創立から五十年の間、今日の繁栄の基礎を創つていただいた歴代会長三

名に、富田大会会長が心を込めて文書を練つた顕彰を贈呈いたしました。この歴代会長は、既に他界されていることから、この日はご家族の方にお越し頂き進呈させていただきました。続いて、永年勤続表彰を行い、園長経験通算三十年以上の方十名と保育士と園長経験通算三十五年以上の方五十四名に永年勤続賞が同じく大会会長より授与されました。また、保育会の発展のためにご尽力賜りました次の方々に特別表彰をお贈りいたしました。

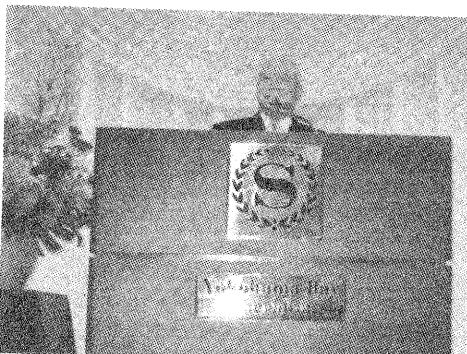
小川 あきの 様 (神奈川県社会福祉婦人懇話会顧問)
平野 建次 様 (神奈川県保育士養成施設協会会长)

ともに、「ご参会の皆様のお力添えを賜り、私たちは生涯を通じて子ども達が幸せになるよう努めて参りたい。」と凛とした強い想いを伝えられました。

箕原 寛 様 (前保育園利用者相談室第三者委員)
小林 育子 様 (現保育園利用者相談室第三者委員)
黒澤 敏江 様 (神奈川県保育会事務局員)
長崎 清美 様 (キャラクターデザイン考案)



引き続いて、来賓の方を代表して松沢成文神奈川県知事、田島信二神奈川県議会議長、間宮恒行町村会長、今里譲厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長、小川益丸全国保育協議会長の五名の方より祝辞を頂戴いたしました。



続いて、第二部の講師でもある脇屋氏のプロデュースによる祝辭を頂戴いたしました。

第一部

第二部は、トゥーランドット遊仙境のオーナー・シェフ脇屋友詞氏による『楽しい食・保育の中心は食にあり』と題し、実演パフォーマンスを交えた記念講演が行われました。



この記念講演は、保育会の研修でもある「保育専門講座Ⅲ」にも位置付けられてもおり、食の大切さを知り、体によい食べ物を自分で選べるような自立した人間に子どもを育てることは、知育・体育・德育と並んで重要なことである。食べ物を選ぶ能力、味がわかる能力、料理する能力、食べる

などを積極的に摂り体調を整えて行く必要性も話されました。特に、ストレスに関しては、親が精神安定すると愛情表現が豊かになりそれが子どもに伝わる。エネルギーがあり安くて栄養価の高い旬の食材を摂ることも大切であるが、何より親が一緒に食べることの必要性を強くお話ししされていました。

な体がわかる能力などの五つの能力が元気な子になるため普段からの体調管理の大切さから、免疫力を高める食材や体のさびつきを防ぐ食材、そしてストレス解消に良い食材などを積極的に摂り体調を整えて行く必要性も話されました。

から、免疫力を高める食材や体のさびつきを防ぐ食材、そしてストレス解消に良い食材などを積極的に摂り体調を整えて行く必要性も話されました。特に、ストレスに関しては、親が精神安定すると愛情表現が豊かになりそれが子どもに伝わる。エネルギーがあり安くて栄養価の高い旬の食材を摂ることも大切であるが、何より親が一緒に食べることの必要性を強くお話ししされていました。

第三部は、五十周年の祝賀会が行われました。まず最初に、都筑実行委員長のあいさつに続き、松川和照関東ブロック保育協議会会长、平野建次神奈川県保育士養成施設協会会長からお祝いのことばを頂戴しました。松川会長からは、三代鈴木萬吏会長と発起人ととなり関ブロが誕生したことや平野会長からは、世代を継いで人の絆が保育を通して発展していることなど、お二人ともに神奈川県保育会がより一層に発展することを願うお祝いの言葉を頂きました。

続いて、加藤芳明神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部長より乾杯のご発声を頂き、盛大に祝賀会が開会しました。祝賀会では、久しぶりに顔を合わせた方々が再会を喜び、となっていく過程に、会場はため息や驚き、感動などで大きな拍手の渦に包まれており、脇屋氏の技を含めて素晴らしい記念講演となりました。

第二部

第三部は、五十周年の祝賀会が行われました。まず最初に、都筑実行委員長のあいさつに続き、松川和照関東ブロック保育協議会会长、平野建次神奈川県保育士養成施設協会会長からお祝いのことばを頂戴しました。松川会長からは、三代鈴木萬吏会長と発起人ととなり関ブロが誕生したことや平野会長からは、世代を継いで人の絆が保育を通して発展していることなど、お二人ともに神奈川県保育会がより一層に発展することを願うお祝いの言葉を頂きました。

また、祝賀会では記念コンサートも開かれました。登場したのは、四人組のボーカルグループ「V O X R A Y」。V O X（声）、R A Y（光線）の名前の由来のとおり、各パートの声だけで時には穏やかに時には厳しく、またリズミカルで楽しく、素晴らしい声



また、祝賀会では記念コンサートも開かれました。登場したのは、四人組のボーカルグループ「V O X R A Y」。V O X（声）、R A Y（光線）の名前の由来のとおり、各パートの声だけで時には穏やかに時には厳しく、またリズミカルで楽しく、素晴らしい声



量と美しいハーモニーに会場からは大きな拍手がわいていました。メンバーのお一人は偶然にも小田原の保育園の出で活躍され各地のコンサートだけではなく、養護施設や保育園などに訪問し福祉活動にも積極的に取り組み、子ども達に平和を届けたいとの思いで活動されているそうです。最後に、相馬副理事長より謝辞とともに、子ども達の未来のために手を携え、これから神奈川県保育会の益々の繁栄を祈念してなごり惜しく閉会となりました。

第54回 全国保育研究大会

すべての人が子どもと子育てに 関わりを持つ社会をめざして

平成22年10月20~22日

てしましましたが、もう機内だつたので出られず、キャビンアテンダントにもにらまれ……。慌てて携帯の電源をオフにするなど、全くかつこの悪いことは続くもので……。

関西国際空港は、初めて訪れた場所。どこをどう進んでいけばシャトルバスに乗れるのやらと、ツーリストから頂いた案内図とにらめっこしていると、空港ロビーにピンクのベストを着ている人たちがちらほら見受けられる。そう多大な数ではなく、要所要所に

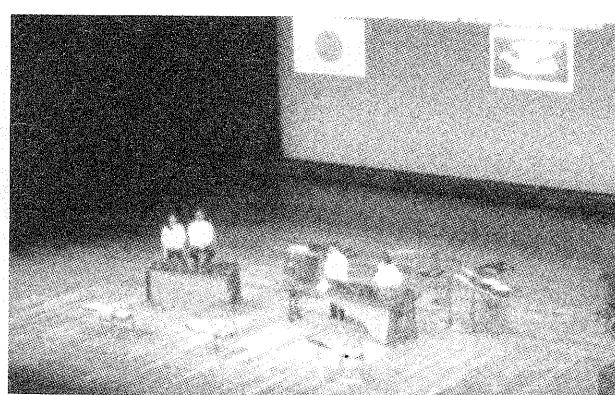
地に旅立つ人々でごった返していました。関西国際空港までは一時間弱の空の旅、朝食を空港で済ませようと思つて家を出たものの、意外と空港で手間取つてしまい、最後はコンコースをダッシュしてゲートを目指すという、あまり格好のいいものではないスタートとなりました。飛行機は早朝の便であつても満席状態。定刻通りの出発。搭乗してす

ある。こちらが資料を手にうろうろしていると、あちらから声をかけていただけだ。そういうです、この方々は、和歌山からこの関西国際空港まで、案内係として来てくれていた。和歌山の先生方だったのです。いきなり空港で迎えてくれるとは思つてもいなかつたのでとても驚きました。



一時間ほどで会場の和歌山県文化会館に到着。私が到着した時には、受付開始までには

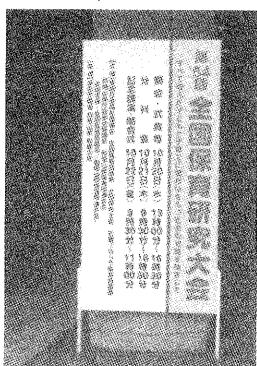
案内や手荷物の処理の詔ど、訪れた全国の先生方を掛けられていました。

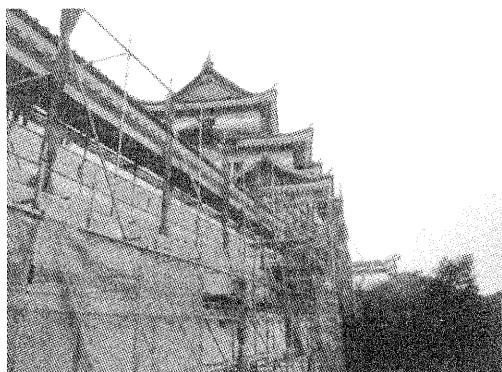


十二時三十分より式典が始まり、「ジール」による、マリ・ンバの演奏、そして和歌山県保育所連合会会长の森田昌信先生の開会挨拶。次いで全国保育協議会会长の小川益丸先生から基調報告がなされました。内容は「保育をめぐる動向と全保協の取り組み」として、一、子ども・子育て新システム等、国の動向と全国保育協議会の対応。二、保育の

の保育をめぐる国の動向や題と、今後進んでいくであろう保育所の方向性について行政から伺う事が出来ました。一日目は、こうして無事に終了する事が出来ました。

質の維持・向上。三、保育園 係施策・予算。





会が、和歌山市内六会場で開催されました。しかしながら今回、神奈川から、分科会の発表がいなかつたので、全分科会の会場をひとめぐりさせていただき、その後に、初めて訪れた和歌山市内の散策に繰り出してみました。

まずは市内の中心、今回のメイン会場の近くにある和歌山城を目指しました。

和歌山城周辺は公園として整備されており、散歩を楽しむ方々も多く、お城周辺は緑も多くとても気持ちのいい場所がありました。

生憎、和歌山城は現在修復中という事でお城の周りは、作業用のシートに覆われてしまい、全容を観る事ができませんでしたが、本当に大きくて和歌山市内を一望できる場所に立ち、その大きさに圧倒される建物でした。天守閣に上がると、和歌山市内が一望で見ることができ、当日は生憎の曇り空で時折空からは雨粒も落ちてくるという天気。この日は遠くを見通せる事は出来なかったのですが、本当に景色のよい、晴れていればと少々残念な気持ちになりました。

三日目は、会場をメインの



和歌山文化会館へ移し、最終日。

記念講演「いのち輝け」と題し、高野山真言宗管長の松永有慶様にご講演頂きました。

日本に培われてきた文化としての思いやりの心を大切に育み、それを受け継いでいく事の大切さを、本当に分かりやすく心の奥底にしみこんでいくようにお話され、話を聞いた後には心の奥底がほんわかと暖かい気持ちに満たされました。



その後、「子どもの育ちを主体とした次世代育成施策を!」と大会アピールが読み上げられました。

れました。

『一・私達は全ての子どもの育ちを保証する国の責務と、包括的な次世代育成施策の確立に社会全体が取り組む必要を、國民に呼びかけ、理解と協力を求めます。

一・私たちは子どもの家庭福祉制度の確立のため、國の責任のもとで、認可保育所を機軸として室の確保された保育と子育て環境の拡充を実現します。

一・私たちは、生まれ育つ地域や保護者の状況等で格差が生じないよう、保育所の最低基準等の地方自治体への全面的な移譲に断固反対します。

一・私たちは一人ひとりの子どもたちを大切にした保育実践のため、最低基準や保育士等の労働条件をはじめとした保育環境の抜本的な改善を要望し、実現します。

一・私たちは、全ての子ども の健やかな育ちが保障されるよう、子ども家庭福祉施策関連の財源を大幅に増やすよう、

国、地方公共団体をはじめ、広く国民に訴え、実現します。
最後に次回開催地である、

横浜の方々が登壇されました。スライドショーを使った横浜の名所等を大写しにされ、また、ちょっととした寸劇などもおりこまれ、楽しく横浜の雰囲気を全国の皆さんにお届けしました。

横浜で逢いましょうと全ての日程が終了いたしました。

今回初めて全国大会に参加をさせていただき、本当に保育界に関わる人たちのパワーを肌で感じさせていただきました。



これは、今回の資料集と一緒に封入されていた、手作りのしおりと、間伐材で造られた割り箸です。

保育の日前夜祭

六回目の表彰になります。

平成二十二年十一月三日、横浜ベイシェラトンホテル＆タワー

ズ五階「日輪」において、保育の日前夜祭が一般社団法人神奈川県保育会の主催によ

り、約百二十名の参加で行われました。「神奈川県保育の日」を翌日に控え、保育関係の皆様が一堂に会し、保育功労受賞者の皆様をお招きしてお祝いするとともに、日頃保育業務に専念されて



戸 潤 明 男 様
佐 藤 智 子 様

二宮町みちる愛児園
平塚市花水台保育園

南足柄市華綾保育園
中 村 麗 子 様

三浦市上宮田子羊保育園
廣瀬 牧 実 様

横須賀市長井婦人会保育園
町 田 礼 子 様

厚生労働大臣表彰を受賞された
厚木市相川保育所
岩 崎 京 子 様

員会委員長敷田博昭様、神奈川県児童福祉審議会委員長松田良昭様、神奈川県社会福祉協議会事務局長鈴木和夫様、神奈川県ゆりの会会长富米野知子様より、お祝いのことばをいただきました。

その一つひとつのことばは重みを感じ心に響くものでした。

式典後に行なわれたアトラ

クションでは、花譲会・里神樂加藤社中の皆様の箒や尺八による古典芸能を堪能することができました。箒や尺八の

音色や舞いの素晴らしさに、いつしか会場の中はうつとりとした雰囲気に包まれていき

ました。改めて、邦楽の奏でる美しさや魅力を感じること

ができました。

懇親会は富田顧問より「先輩から受け継いだ心を忘れないで欲しい」また、「皆さんは若い



人々への指導もお願いしたい」との言葉をいただきました。今日はこのように盛大に行なわれている保育の日前夜祭も、

第一回目は藤沢の労働会館、第二回目は二宮の講堂において皆様からの持ちよりでスタートしたという発足当日のなつかしく大切な思いも聞くことができました。和やかで暖かい雰囲気の中で、参加者相互の親交を深め合うこともでき、終焉を迎えるのが惜しまれるなか、樹居副理事長のこぼをもつて閉会となりました。

受賞者の皆様と共に、子ども達の幸せと明るい未来のために、その一助となつていけるよう努めています。

受賞者の皆様と共に、子ども達の幸せと明るい未来のために、その一助となつていけるよう努めています。

都筑理事長より主催者挨拶がありました。その中で、県保育会も五十年の歴史を積み重ね、現在は法人化となり新た

「保育賞」は神奈川県独自の褒賞制度で、今年度で四十

回目になります。

今年度で三百四十一名が「保育賞」を受賞ますが、前夜祭に参加された次の五名の方々に都筑理事長から花束が贈呈されました。

（左）戸 潤 明 男 様
（右）佐 藤 智 子 様

（左）南足柄市華綾保育園 中 村 麗 子 様
（右）三浦市上宮田子羊保育園 廣瀬 牧 実 様

（左）横須賀市長井婦人会保育園 町 田 礼 子 様
（右）厚生労働大臣表彰を受賞された 厚木市相川保育所 岩 崎 京 子 様

保育園相談会Ⅱ

十一月十一日(木)、講師に立教女子学院短期大学の今井和子先生をお迎えして「保育内容と自己評価」というテーマで講座が開催されました。当日は早くから会場の席が埋まるなど、参加者の関心の高さをうかがうことができました。

先生がまず話されたのは「幼児期に質のよい保育を受けたかどうかでその後の人生が変る」という大変身の引き締まるお言葉でした。子どもたちを支え豊かな保育内容にする為に「自己評価」し保育内容を高めていく。どうすればよいのかを、求め続けていくのが自己評価であると話され、今まで目に見える現象で評価をする「能力発達評価」をしてしまったことが、子どもの人格発達を危うくしてしまい、その結果「自分がかけがえのない大切な存在である」という自己肯定感が育つていないと言ふへ、今の子どもたちの現状についてお話を



されました。それらをふまえて、保育は的確な自己評価が大切であり、保育者が子どもをどう見てどう関わったか、その関わり方は適切であったかなど、評価の方を講義されました。

その後、先生から具体的な事例をあげて問題提起がなされ参加者がグループに分かれ討議、発表と続きました。参加者の熱意が伝わってくる講習会で「具体的でわかりやすく、とても勉強になった」と等の感想が寄せられました。

この講座を通して「子どもたちを支える保育の質の向上につながることを改めて感じた一日でした。

てていくことが保育の質の向上につながることを改めて感じた一日でした。

保育園利用者相談室研修会が行われました。今回は講師に岩倉拓氏を迎え『保護者心理と心構えクレーム対応について』をテーマに講演がありました。平成十二年六月の社会福祉法の改正により、新たに苦情解決の仕組みが導入され、基本的には都道府県における対応（福祉適正化委員会）と福祉サービス提供事業者による苦情解決という二段構造になっています。具体的には、施設内に苦情受付担当者・苦情解決責任者と解決の為に客觀性を確保する為の第三者委員を設置して、福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く吸い上げサービスの改善を図っていくものです。苦情と一口にいってもそれは、不平不満や感情的に不愉快に思う事、問題解決の為の建設的な意見など幅広いものです。その原因としては、子どもの人格発達を危うくしてしまったことが、子どもの自己肯定感が育つていないと言ふへ、今の子どもたちの現状についてお話を

保育園利用者相談室研修室Ⅰ

平成二十二年十一月十五日、

保育園利用者相談室研修会が岩倉拓氏を迎え『保護者心理と心構えクレーム対応について』をテーマに講演がありました。

最近、特に問題になつていいのが、『モンスターペアレント』の存在です。研修の中で印象に残つた事は、「モンスターなど存在しない」とい

感じたり、事業者が分かりやすい重要な事項の説明がなく不満に思う場合もあります。

今年度から神奈川県保育会の公益性拡大の観点から利用者相談室の会員外にも広く門出を開き、会員外の三名を含む八十余名の方々が参加されました。研修会は参加者を八

つのグループに分け、グループ内から出された相談や苦情の事例を討議し、グループ毎にその成果を発表いたしました。

の事例を討議し、グループ毎に防ぐ為にも保護者への情報提供等は積極的にコミュニケーションをとつて行く事が必要だと感じました。相手の言い分をよく聞き、その言葉の中に潜在的なニーズが隠れていないかを見極めながら対応したいと思いました。何よりも苦情とうまく付き合うための建設的な意見など幅広い意見や要望や疑問などを提出してもらえないと保護者が

保育園利用者相談室研修会Ⅱ

平成二十三年二月七日に、

ホテル・キヤメロットジャパンに於いて「保育園利用者相談室研修会」が行われました。

の事例を討議し、グループ毎に防ぐ為にも保護者への情報提供等は積極的にコミュニケーションをとつて行く事が必要だと感じました。相手の言い分をよく聞き、その言葉の中に潜在的なニーズが隠れていないかを見極めながら対応したいと思いました。何よりも苦情とうまく付き合うための建設的な意見など幅広い意見や要望や疑問などを提出してもらえないと保護者が

の第三委員である小林育子氏（元田園調布学園大学副学長）、宮田丈乃氏（県保育会副理事長）、小川晃氏（松林保育園理事長）の三名にご参加頂き、成果発表の内容について指導と助言をして頂きました。

また、利用者相談室の運営委員の四名も参加され、とても実りの多い研修会となりました。

保育所食育研修会

(火)神奈川県社会福祉会館において、「子どもの発達と食育について」というテーマで白鷗大学教育学部教授の高橋美保先生をお招きして研修会が開催されました。

午前中の講義では、まず初めに綾瀬市のつぼみ保育園、逗子市の双葉保育園の先生により、事例研究が発表され、それを基に先生から「助言や問題提起がなされました。

保育かなかがわ

その中で先生が「食育は三年かかる」とおっしゃった言葉が、たいへん心に残りました。食育を繰り返し行っていたことでその子の食習慣の形成がある、プランを立てたら目的を明確にして的を絞り、次の年は傾向等データをまとめ分析、その次の年はアクションと子どもの発達を押さえ、振り返りをしながらじっくり取り組んでいく」とが大切とお話をされました。「皆さんは食育をイベントで終わらせていませんか」という、先生からの



性をどう保障していくか、その為に子どもの発達を捉えていかなければならないことなどをお話ください、あつという間に午前の時間が過ぎていきました。

問い合わせがあり、食育は単発ではなく子どもの発達の連続性をどう保障していくか、その為に子どもの発達を捉えていかなければならぬことなどをお話し下さい、あつという間に午前の時間が過ぎていきました。

性をどう保障していくか、その為に子どもの発達を捉えていかなければならぬことなどをお話し下さい、あつという間に午前の時間が過ぎていきました。

公立専門委員会

平成二十二年七月に関東ブロックでの発表があり「公立保育所の役割と実践」を考えいくきっかけとなりました。

二十二年度の内容は、二十一年度のテーマと重なるところもありましたが、「職員の資質向上、要支援児への保育、保育要録」等について情報交換や意見交換を行いました。

昨年度の要望により、十一月には相模原の東林保育園への視察を行った。ここで得た情報が各地区の保育に生かされていると思います。今後に向けても、保育の質を上げ、入れられ具体的なアドバイスをしてくださるなど、和やかな中にも熱心な話合いが行なわれました。今回は保育士、

調理師、栄養士が参加しての講習会でしたが、参加者の「より良い食育を」との熱い思いが伝わってきた一日でした。

委員会報告

うに研修会を企画しました。

第一回目は、湯浅とんぼ氏島本一男氏をお迎えして「歌

うで踊ってみんなで楽しむあそびうた」、第二回目は、磯田節子氏をお迎えして、「元気な自分でいるために」、保育講演

会は、小沼肇氏をお招きして「今大目にしたいこと」をテーマに実施し、沢山の会員の皆様が参加して下さり有意義な時間を過ごすことができました。広報部は、読みたくなるような紙面作りを心掛け、

年一回の保育会ニュース・やまゆりを発行しました。

保育内容研究会は、「子どもと睡眠」のテーマで相馬節子氏にアドバイスを頂きながら進めていきました。また二十一年度保育内容研究会は、平成二十二年度全国保育研究大会において研究の成果を発表することができました。

これからも会員の皆様の保育園の皆さまにおかれましては「子ども達の幸せのために」

並々ならぬご努力をされてい

ます。

当地、神奈川においても計画停電や給食食材の調達が困難になるなど、日々の保育を

展開していく事が困難な状況も見受けられますが、会員保育園の皆さまにおかれましては「子ども達の幸せのために」

並々ならぬご努力をされてい

ます。

最後になりますが、被災さ

れました方々にお見舞いを申

し上げるとともに、被災地の

一日も早い復興をお祈りしています。

編集後記

三月十一日に起きました東日本大震災では、連日報道さ

れる映像に発する言葉も無く経過するに従い、徐々に被害の大きさを実感し自然に対す

る人間の非力をさまざまと見せつけられました。

また、自然災害以外にも原

子力発電所での事故も追い打

ちをかけるように被災地に重

くのしかかり、それが日本全

国にも様々な影響を及ぼして

います。

これまでの衝撃を受け、時間が経過するに従い、徐々に被害の大きさを実感し自然に対す

る人間の非力をさまざまと見せつけられました。

また、自然災害以外にも原

子力発電所での事故も追い打

ちをかけるように被災地に重

くのしかかり、それが日本全

国にも様々な影響を及ぼして

います。

これまでの衝撃を受け、時間が経過するに従い、徐々に被害の大きさを実感し自然に対す

る人間の非力をさまざまと見せつけられました。

これまでの衝撃を受け、時間が経過するに従い、徐々に被害の大きさを実感し自然に対す

る人間の非力をさまざまと見せつけられました。